

令和4年度事業報告

令和4年度は以下の行動計画に基づき事業を行った。

本協議会（略：福経協）設立趣旨に則り、福祉人材養成と大学教育を巡るさまざまな課題に会員校が連携・協力して取り組みをすすめるとともに、福祉系大学に寄せられている社会的要請と期待に応じていく。

1. 福祉人材養成の充実と社会福祉士の地位向上に向けた取り組み

～社会的発信力の向上を目指して

- 1) 厳しい学生募集環境と福祉人材の育成・確保に関する課題、社会福祉士の職域拡大と地位向上の課題、質的にも量的にも拡充が求められている福祉職の存在価値と魅力の発信課題等、福祉系大学が抱える諸課題等の解決に向けて、関係団体・省庁等との連携を一層図り、取り組みを進める。【総務・企画委員会】
- 2) 「子ども家庭福祉ソーシャルワーカー」認定資格の動向について引き続き注視し、福経協として必要な対応に努める。また、社会福祉士資格と社会福祉士に関連する資格制度のあり方、社会福祉士国家試験のあり方等についても引き続き検討を進め、必要な対応について関係団体・省庁等との連携を図り、取り組みを進める。【総務・企画委員会】
- 3) 大学間連携を始めとし、高大連携、社会福祉法人との連携等、「連携」をテーマに各大学の取り組みの共有を図り、福経協としての新たな「連携事業」についての検討を進める。【総務・企画委員会】
- 4) この間定着したオンラインでの委員会活動の取り組みを軸に、引き続き会員校同士の情報交換の活発化を図る。あわせて、対面での実施も重視し、ハイブリット型開催についてもすすめていく。【総務・企画委員会／各委員会】
- 5) 本協議会の趣旨に賛同いただける会員校の拡大に、引き続き取り組む。【総務・企画委員会】

2. 各委員会の取り組み

引き続き下記の委員会を設置し、各課題解決に向けて取り組みを進める。会員校は、希望に基づき、各委員会に所属するものとする。各事業推進にあたっては、会員校間の連携強化につながり、全体で取り組むことの効果を追求し、進めていく。

◎令和4年度設置委員会

- ①総務・企画委員会
- ②研究活動・教育向上委員会
- ③就職委員会
- ④学生募集戦略検討委員会
- ⑤大規模災害対応委員会

1) 総務・企画委員会

- ・各委員会や関係諸団体とも連携し、取組みの内容についての発信を強化していく。
- ・引き続き、学生募集戦略検討委員会と共催で、厳しい学生募集状況の改善に繋がる事業を推進する。また、特設サイトの一層の活用について検討をすすめ、福祉の学びを希望する高校生に活用されるサイトを目指す。
- ・研究活動・教育向上委員会と共催で、新カリキュラム（以下新カリ）実施を巡る諸課題に取り組む。あわせて、社会福祉士資格や関連資格をめぐる動きや、社会福祉士国家試験に関連する課題についても、会員校の意見収集に努め、福経協として一致して対応に努める。
- ・地域共生社会の実現に向けて社会福祉士に期待される新たな役割や養成課題、今後を見据えての社会福祉専門職の資格のあり方等をテーマに、外部公開型の勉強会を開催する（11月頃）。

2) 研究活動・教育向上委員会

- ・社会福祉士・精神保健福祉士の新カリ実施2年目を迎え、引き続き新カリが目標とする実践能力の向上に向けた教育内容やICTを活用した効果的・効率的な実習指導のあり方について、会員校の情報共有や意見交換を行う。（勉強会 年2回を予定）
- ・社会福祉士国家試験終了後の会員校アンケートを引き続き実施するとともに、国家試験をめぐる課題解決に向けて総務・企画委員会とともに取り組みをすすめる。

3) 就職委員会

- ・「福祉の学びの優位性」の発信につなげられる就職事例収集の取り組みとして、今年度は近年採用実績や希望者が増えている「福祉職公務員」をテーマに行う。
- ・前半期は、会員校での採用実績や合格に向けての支援プログラムの実施状況等についてアンケートを実施し取りまとめを行う。後半期には、アンケート結果をふまえた特徴的な取り組みを実施している会員校の事例を共有する勉強会を開催する。

4) 学生募集戦略検討委員会

- ・勉強会を複数回開催する。学生募集や広報、入試制度をテーマに取り上げ会員間の共有を図る。
- ・協議会特設サイトの充実を図る。
- ・SNS連動広告を活用したWebマーケティングの実施継続を検討する。
- ・会員校のWebオープンキャンパス等の情報を集約し、協議会ホームページで発信する。

5) 大規模災害対応委員会

- ・昨年度委員会校で検討した「ソーシャルワーカーの声プロジェクト継承事業（仮称）」の実施にむけて委員会校でプレ事業を実施する。
- ・プレ事業の実施をふまえて、福経協全体で取り組む「ソーシャルワーカーの声プロジェクト継承事業」実施概要を取りまとめる。また、会員校が実施する防災及び災害支援に関する活動についての情報発信の取り組みについて、引き続き検討を行う。

以 上

1. 総会の開催

1) 令和4年度第1回総会

○日 時 令和4年6月16日（木）13:30～15:30

○形 式 オンライン

○内 容 第1部 話題提供

「社会福祉士国家試験の在り方に関する検討会の答申について」

法政大学 常務理事・副学長 岩崎 晋也 氏

第2部 総会

1. 会員代表者等変更のご紹介
2. 令和3年度事業報告および決算について（案）
3. 令和4年度事業計画および予算について（案）
4. 総務・企画委員会主催勉強会について（案）
5. その他

1) 会員校調査結果一覧

2) 2022 度鉄道弘済会奨学生選考結果

3) その他

第3部 会員校の情報交換

○出 席 23 大学 45 名

2) 令和4年度第2回総会

○日 時 令和5年1月19日（火）13:00～15:30

○形 式 オンライン

○内 容 第1部 勉強会

「当事者の声を聴く 大阪市西成区の子育て支援から」

大阪大学 人間科学研究科 村上靖彦 教授

第2部 総会

1. 令和4年度委員会活動経過報告
 - 1) 総務・企画委員会
 - 2) 研究活動・教育向上委員会
 - 3) 就職委員会
 - 4) 学生募集戦略検討委員会
 - 5) 大規模災害対応委員会

- 2. 令和5年度鉄道弘済会奨学生について
- 第3部 会員校の近況報告

○出席 22大学34名

2. 理事会の開催

1) 令和4年度1回理事会

○日時 令和4年5月19日(木) 14:00~15:32

○形式 オンライン

- 内容
1. 会員代表者等の変更について
 2. 令和4年度第1回総会議事について
 - 1) 令和3年度事業報告および決算
 - 2) 令和4年度事業計画および予算
 - 3) 当日の進行について
 3. 第34回社会福祉士国家試験に関する正副会長声明の発表について
 4. 子ども家庭福祉の動きについて
 5. 総務・企画委員会主催 勉強会について
 6. 今後の予定について
 7. その他

○出席 9大学17名

2) 令和4年度2回理事会

○日時 令和5年1月10日(火) 15:00~16:00

○形式 オンライン

- 内容
1. 令和4年度第2回総会議事について
 - 1) 令和4年度各委員会活動経過報告
 - 2) 令和5年度鉄道弘済会奨学生について
 2. 後援名義申請について
 3. その他

○出席 8大学15名

3. 各委員会活動

1) 総務・企画委員会

①運営概況調査と進路調査の実施

○日時 令和4年4月8日(金)

- 内容
1. 令和4年度生入試の状況(福祉系学部・学科) <1年次入学・3年次編入学>
 2. 令和4年度在学生数の状況(福祉系学部・学科)
 3. 令和3年度社会福祉士及び精神保健福祉士国家試験の状況(新卒者)
 4. 令和3年度進路状況
 5. 令和3年度社会福祉士・精神保健福祉士国家試験合格者の進路状況
 6. 令和3年度医療・福祉分野における資格取得・国家試験の状況(新卒者)

7. 高大接続事例及び社会福祉法人との連携事例 調査票

②勉強会の実施・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・別紙1

○日 時 令和5年2月21日(火) 14:00～16:00

○形 式 オンライン

○内 容 テーマ「地域共生社会における子ども家庭福祉ソーシャルワーカーの役割」

第1部 基調講演

テーマ「現行の子ども家庭福祉分野における取組と今後の展望」

厚生労働省 子ども家庭局長 藤原 朋子 氏

第2部 意見交換

テーマ 「子ども家庭福祉の展望」

【コメンテーター】

関西大学人間健康学部 教授 山縣 文治 氏

日本福祉大学福祉経営学部 教授 後藤 澄江 氏

大阪大学人間科学研究科 教授 村上 靖彦 氏

【コーディネーター】

日本ソーシャルワーク教育学校連盟 会長 白澤 政和

○参加者 17大学 参加者計67名

③「第34回社会福祉士国家試験の合格基準及び今後の試験のあり方に関する声明」を協議会ホームページにて公表した。

○日 時 令和4年4月4日(月)

④社会福祉士国家試験に関して、厚生労働省社会援護局を訪問した。

○日 時 令和4年4月26日(火)

⑤子ども家庭福祉資格養成に関して、厚生労働省子ども家庭局を訪問した。

○日 時 令和4年6月13日(月)

⑥国家試験の合格率に関して、社会福祉振興・試験センターを訪問した。

○日 時 令和5年2月8日(水)

2) 研究活動・教育向上委員会

①社会福祉士国家試験の問題内容に関する会員校アンケートの実施・・・・・・・・別紙2

○日 時 令和5年2月2日(木)

○第35回(令和4年度)社会福祉士国家試験の問題内容に関する意見を会員校から募ったが、不適切と思われる内容がなかったため、社会福祉振興・試験センターへの意見書等は提出しなかった。

②社会福祉士国家試験対策に関する勉強会の開催・・・・・・・・・・・・・・・・別紙3

○日 時 令和5年3月14日(水) 13:30～15:30

○形 式 オンライン

- 内 容 第Ⅰ部：講演「社会福祉士等の国家資格に向けて養成校の今後の対応」及び意見交換
講師：白澤政和氏（日本ソーシャルワーク教育学校連盟会長、国際医療福祉大学院教授）
第Ⅱ部：各大学における社会福祉士国家試験対策に関する情報交換
- 出 席 9大学22名

3) 就職委員会

- ①「福祉職公務員」に関するアンケートの実施

○日 時 令和4年11月21日（月）

- ①第1回委員会の開催

○日 時 令和5年1月16日（火）10:30～11:30

○形 式 オンライン

- 内 容 1. 就職委員会アンケート結果について
2. 勉強会の内容について
3. その他

○出 席 4大学9名

- ②第1回勉強会の実施・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・別紙4

○日 時 令和5年2月27日（月）10:00～11:30

○形 式 オンライン

○内 容 第Ⅰ部

- 1) アンケート結果について

- 2) 取組発表

・淑徳大学 千葉キャンパスキャリア支援センター 酒井 めぐみ 氏
学内公務員対策講座について

スクールとの連携体制による学習の動機づけと継続のサポート

・日本社会事業大学 学生支援課長 池田 拓 氏

学生支援課副主任 白須 莉央 氏

学生の抱えている不安や希望に寄り添い、やりがいと成功に導くノウハウと
実績の好循環が日本社会事業大学公務員合格実績の原動力

第Ⅱ部 情報交換会

・学生の自己分析や面接カード、面接対策について

・筆記試験対策（教養科目・専門科目）について

○14大学20名

4) 学生募集戦略検討委員会・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・別紙5

- ①特設サイト「全国で活躍するセンパイの思い」の卒業生・在校生の情報を更新した。

- ②学募共同事業勉強会の実施

○日 時 令和4年8月3日（水）13:00～14:30

○形 式 オンライン

○内 容 1. 学生募集事業に関わる話題提供

- 株式会社リクルート 飯島 隆介 氏
2. 2022 年度学募共同事業について
 3. 学生募集、入試事業に関わる情報交換

○出席 12 大学 2 企業 27 名

④「災害×福祉」特設サイトの開設

これまでの Twitter 施策の結果を踏まえ、「災害」に対して反応するユーザをターゲットとして、ホームページ上に「災害×福祉」を特集したエリアを協議会ホームページに開設した。特設サイトは、福経協が監修した書籍「災害ソーシャルワークの可能性—学生と教師が被災地でみつけたソーシャルワークの魅力」を参考にページを構成し、会員校からもアンケートにて意見を募った。

5) 大規模災害対応委員会

①大規模災害対応委員会の開催

【第 1 回】

- 日時 令和 4 年 7 月 26 日 (火)
- 形式 オンライン
- 内容 ・ソーシャルワーカーの”声”プロジェクト(プレ)事業の実施内容について検討を行う
・会員校が行う防災・災害支援活動の情報発信事業の実施内容について検討を行う
- 出席 5 大学 6 名

【第 2 回】

- 日時 令和 4 年 10 月 12 日 (水)
- 形式 オンライン
- 内容 ・ソーシャルワーカーの“声”プロジェクト事業実施マニュアルの策定
- 出席 5 大学 6 名

【第 3 回】

- 日時 令和 5 年 1 月 6 日 (金)
- 形式 書面会議
- 内容 ・ソーシャルワーカーの”声”プロジェクト事業の実施内容についての検討を行う

②ソーシャルワーカーの”声”プロジェクト(プレ)事業の実施

- 日時 令和 4 年 8 月 11 日 (木・祝)
- 形式 オンライン
- 内容 学生たちによるインタビューの実施
インタビュー対象者：高柳 伸康 氏 (震災こころのケア・ネットワークみやぎ)
- 参加 学生 13 名が参加 (5 大学)

③会員校が行う防災・災害支援活動の情報発信事業の実施

- 内容 活動大学：東北福祉大学
活動内容：防災運動会

場所：さんみらい多賀城イベントプラザ STEP（多賀城市）

④ソーシャルワーカーの”声”プロジェクトの実施

○日 時 令和5年2月18日（土）

○内 容 学生たちによるインタビューの実施

インタビュー対象者：中村 洋行 氏（西原村地域包括支援センター）

○参 加 学生16名が参加(6大学)

⑤ソーシャルワーカーの”声”プロジェクト報告会の実施

○日 時 令和5年3月13日（月）

○内 容 ソーシャルワーカーの”声”プロジェクトの参加学生による分析結果報告を行った

○参 加 学生10名が参加（6大学）

以上